

誰でも使えるデータベース!

Access[®]

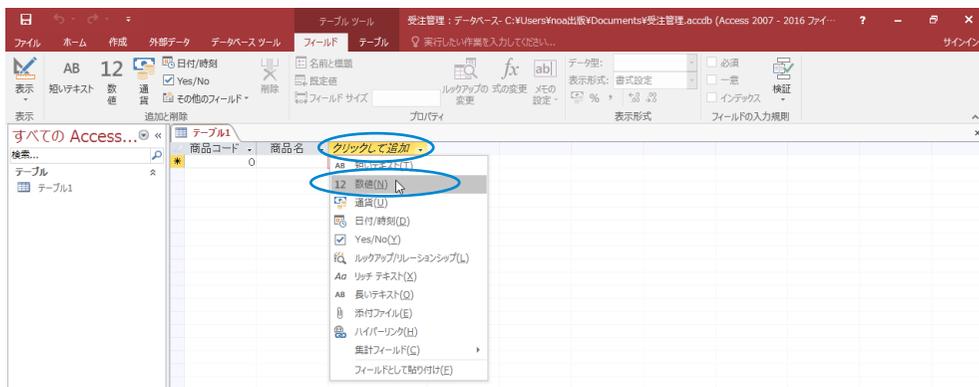
練習問題 全 **190** 題

- ✓ データベースの基礎をわかりやすく解説
- ✓ 豊富な練習問題で理解度をしっかり確認
- ✓ 別冊問題付き!さらに実践力・応用力が身につく

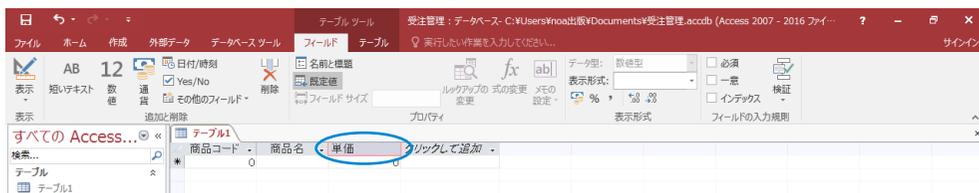
◆単価フィールドの設定

フィールド名 : 単価
 データ型 : 数値型
 表示形式 : 通貨

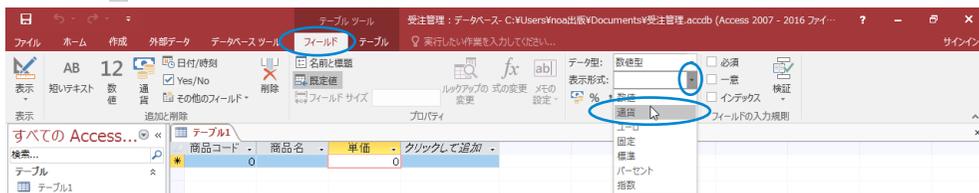
① “クリックして追加” をクリックして、＜数値 (N)＞ を選ぶ



② 「フィールド 1」が反転するので、「単価」と入力して、[↓] キーを押す



③ [単価] フィールドにカーソルを表示して、[フィールド] タブの [表示形式] の [通貨] をクリックし、「通貨」を選ぶ



📖ワンポイント! 📖

★数値型のフィールドと通貨型のフィールドは？

数値型のフィールドは数値の桁数や負の数が保存されるか、誤差があってもいいかなどを考えて、各フィールドサイズから最適なものを選びます。小数点以下の数値を取り扱わない場合は、数値の入力できる範囲と必要サイズを考慮して、「長整数型」か「整数型」を選ぶのが一般的です。「単精度浮動小数点型」や「倍精度浮動小数点型」は、使用するメモリが多くなります。

また、小数点以下4桁までで何度も計算するような場合は、「数値型」ではなく「通貨型」を選びます。計算時に丸めによる誤差が生じないので、商業実務に適しています。

ワンポイント!

★書式の種類は？

フィールドのデータ型によって設定できる主な書式は以下のとおりです。

- ・数値型/通貨型フィールドに設定できる書式/「3456.789」と入力したときの表示内容

数値	通貨	ユーロ	固定
3457	¥3,457	€3,456.79	3456.79
標準	パーセント	指数	
3,456.79	3456.79%	3.46E+03	

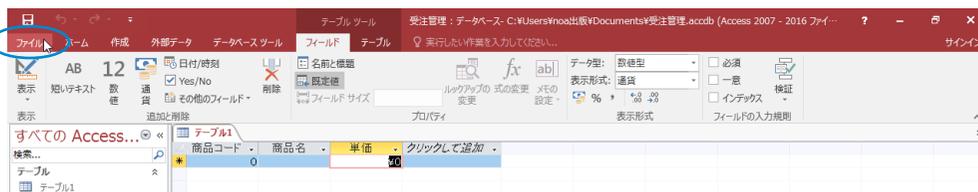
- ・日付/時刻型フィールドに設定できる書式/「2017/6/19 17:34」と入力したときの表示内容

日付 (標準)	日付 (L)	日付 (M)	日付 (S)
2017/06/19 17:34:00	2017年6月19日	17-06-19	2017/06/19
時刻 (L)	時刻 (M)	時刻 (S)	
17:34:00	5:34 午後	17:34	

2) テーブルの保存

テーブルにテーブル名「T 商品マスター」を付けて保存しましょう。

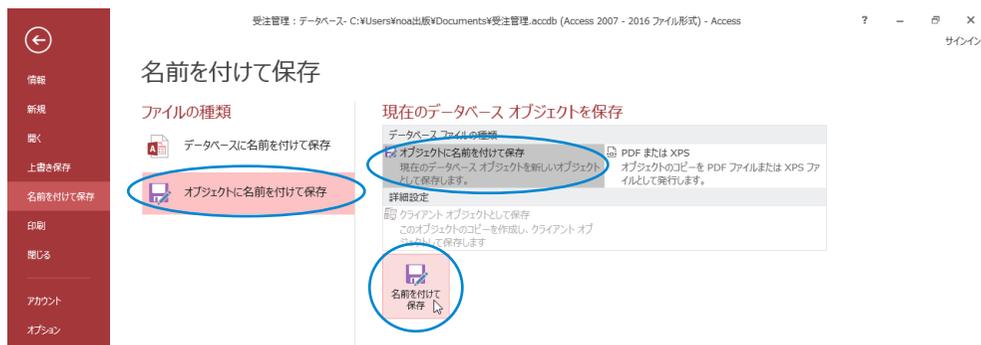
①【ファイル】タブをクリックする



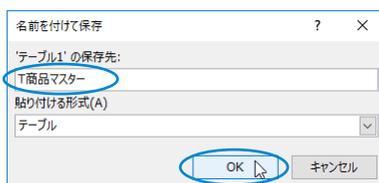
②<名前を付けて保存>を選ぶ



- ③ <オブジェクトに名前を付けて保存>を選び、[データベースファイルの種類]の“オブジェクトに名前を付けて保存”が選ばれていることを確認し、[名前を付けて保存]をクリックする



- ④ 【名前を付けて保存】ダイアログボックスが表示されるので、[‘テーブル1’の保存先]に「T商品マスター」と入力する



- ⑤ [貼り付ける形式(A)]が「テーブル」であることを確認して、[OK]をクリックする

ワンポイント！

★テーブル名の付け方は？

Accessでは、目的のオブジェクトをテーブルとクエリの一覧から選択する操作があります。このためテーブルかクエリかが識別できるようにする工夫が必要です。

本書では、「T」をテーブル名の先頭に、「Q」をクエリ名の先頭に付けますが、容易に識別できればほかの名前でもかまいません。

3) デザインビューでの設定

デザインビューに切り替えて、フィールドサイズと主キーを設定します。

◆商品コードフィールドの設定

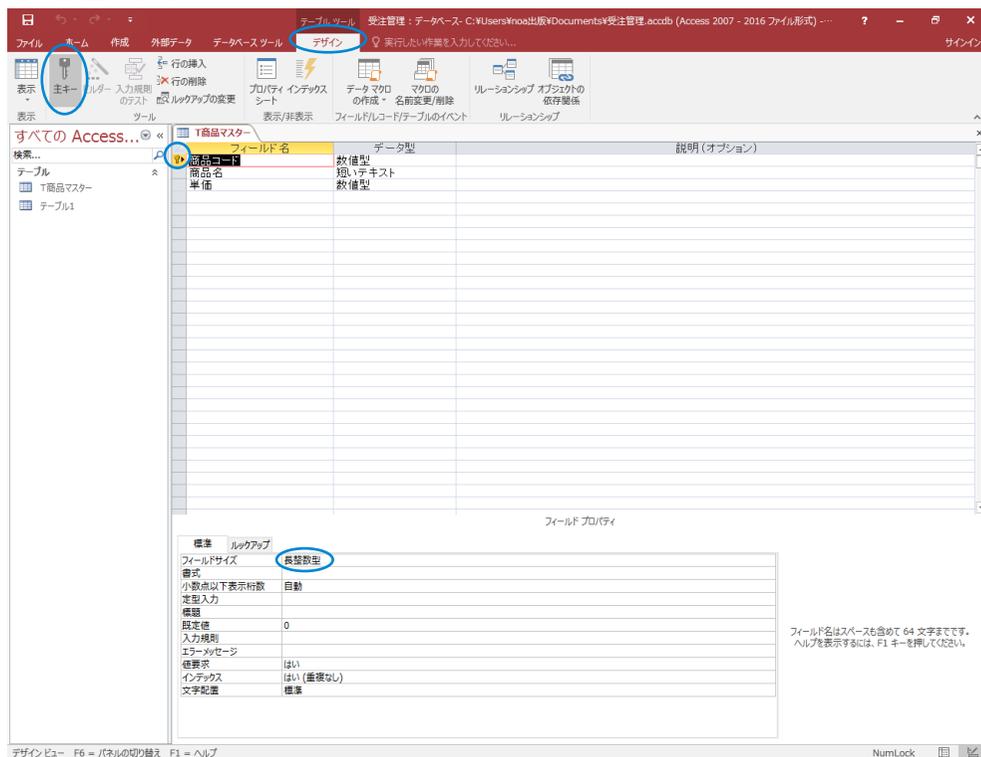
フィールドサイズ：長整数型

その他：主キー に設定します。

- ① [フィールド] タブの  (表示) をクリックし、デザインビューに切り替える



- ②画面下部の[フィールドプロパティ]の[フィールドサイズ]が「長整数型」になっており、[デザイン]タブの  (主キー) が**オン**の状態、主キーに設定されていることを確認する



📖ワンポイント!📖

★主キーを設定するフィールドは？

テーブルに格納したデータを固有のものとして識別するために、主キーを設定します。主キーを設定したフィールドには、重複したデータは入力できません。また、データを入力しない可能性があるフィールドは主キーにはできません。通常、主キーは商品コード、社員コードなど、データが重複しない、かつ、必ずデータが存在するフィールドに設定します。

noa
NOA PUBLISHING FIRM.